

SCENE
1

ワールドマスターズゲームズ2027関西

世界最大級の生涯スポーツの祭典 開催まであと1年

30歳以上を対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ」。4年ごとに開催されており、第11回は2027(令和9)年5月、関西13府県市を会場に日本で初めて行われます。35競技59種目の公式競技のうち、県内では神戸市や姫路市など9市町で9競技11種目を実施。参加登録すれば誰でも出場でき、年代別で対戦するため全ての人にメダリストになるチャンスがあります。開幕まで1年を切った5月17日には、神戸市中央区の東遊園地でPRイベントが開かれ、三田市で予定されているオープン競技のノルディック・ウォーキングや公式競技のビーチバレーなどの体験コーナーが設けられ、幅広い年齢層の男女でにぎわいました。

イベント
参加者の声

松田学さん

知人に誘われ参加しました。初めてノルディック・ウォーキングに挑戦し、思ったより歩きやすくなり驚きました。健康のために15年ほど前からランニングを始め、マラソン大会にも出ています。周囲にワールドマスターズゲームズに出場した人がおり、私も参加してみたいと思っています。



三田市スポーツ推進委員の指導の下、ノルディック・ウォーキングに挑戦。

参加者募集中。
エントリーは
こちらから



五国 の 現場から

SCENES OF
GOKOKU

兵庫県精神保健福祉センター 精神保健福祉士 長岡 美佐

詳細は
こちら



県職員の精神保健福祉士として20年以上現場に携わり、一人一人に寄り添った支援を続けてきた長岡美佐専門員。精神保健福祉士の立場で大切にしている考え、今後の目標について聞きました。

精神保健福祉士は、精神に障害のある方の人権を守り、福祉や医療の視点から支援する仕事です。これまで、虐待案件の対応や自立支援などに携わってきました。

大きな転機となったのが、県立こども病院での経験です。子どもに虐待の疑いがあり保護者との面談の結果、見守る判断をしたものの、その後、子どもは自宅での事故で障害が残ってしまいました。この出来事は、今も忘れられません。

以後、一層研さんを重ね、関係機関等と連携を密にしながら、「本人にとっての最善」を問い続けています。時折この経験を思い返し、精神保健福祉士の責任を深く自覚しています。

仕事の意義を感じるのは、築いたつながりが、新たな支援に生きた時です。以前の職場では、受け入れが難しい相談者を、関わりのあった医師につなぐことができました。分野や組織を超えた関係づくりが、確かな支援に結び付いた瞬間でした。

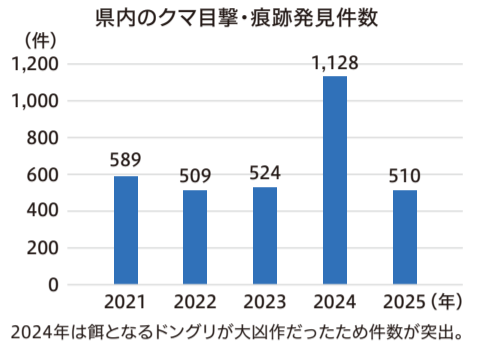
目標は、精神に障害のある方が「兵庫県で暮らして良かった」と思える環境を整えることです。今後も目の前の一人一人に誠実に寄り添い続けます。

兵庫県ツキノワグマ対策連絡会議

SCENE
2

集落を中心に対策を強化し クマによる人身事故を防ぐ

近年、県内でも山林に近い集落周辺でクマの出没が増えています。県では、集落内の果樹をはじめとする誘因物の除去、クマ生息地での餌となる広葉樹林の育成など、すみ分けによる人とクマの共存に取り組んでいます。5月18日には県庁で兵庫県ツキノワグマ対策連絡会議を開催。齋藤元彦知事は「ハイキングなどで山に入る季節になり、クマとの遭遇リスクが高まっているので、人身事故の発生を防ぐ対策を強化したいと思います」と述べました。



クマ対策のポイント

- 夜間は人里でも出没するため、鈴やラジオを携帯する。
- 農地は電気柵で防護し、不要な果樹は伐採する。
- 生ごみや食べ物を屋外に置かない。
- 山裾のやぶや樹木は刈り払い、集落との境界を明確にする。
- 集落やその周辺でクマやそのふん、足跡を見つけたら、最寄りの行政機関に連絡する。

詳しくは
こちら



兵庫県職員のみなざし
職員インタビュー vol.1

相談者にとつての 最善の支援を問い続けたい

